

つさあいごの



小平町長

関次雄

年頭にあたって

あけましておめでとうございます。

令和3年の輝かしい新春を町民の皆様とともに迎え、お慶び申し上げます。心からお慶び申し上げますとともに、日頃より町行政の推進にあたり、深いご理解とご協力を頂いておりますことに厚くお礼申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、昨年を振り返りますと、年明け頃から「新型コロナウイルス感染症」による影響が広がりをみせ、東京オリンピック・パラリンピックの1年延期にみられるようにさまざまなイベントや行事が中止または延期となりました。

このコロナ禍により、私たちは今後「マスク着用」・「3密回避」・「新北海道スタイル」等の新しい生活様式の実践をしなければなりません。町民の皆様におかれましては日頃から感染予防にご留意いただこうお願いいたします。

昨年の主要産業の中で農業にあっては7月以降は好天にも恵まれ、米や豆類、小麦他総じて町内の作柄は良く、漁業におきましても、ホタテに関して取扱金額は良い状況であり、さらに秋サケ漁も全体的に豊漁と言える結果でありました。

また、一次産業の将来を見据え、農業にあってはJ A南るもいを含む管内4つのJ Aが2月に合併する他、漁業では新星マリン漁協の鮮度保持施設兼事務所が白谷に完成し、本所機能が移転されております。当町としてはこれを好機ととらえ、一次産業の更なる発展を目指し、さまざまな支援策を展開していく所存であります。

さらに、現在AI・IoT技術に注目が集まっていますが、当町もこれに取り組むべく、情報インフラ整備としてブロードバンド化事業に着手し、来年度

中の未供用地域解消を目指しております。当町における1次産業の活性化は、新たな事業展開や雇用の創出につながるものであり、積極的な施策の展開は人口減少時代を生き抜く成長戦略として極めて重要でありますので、効果的施策を随時実施してまいります。

道路整備では関係機関のご理解とご協力により大榎・花岡間の国道232号の強靱化対策事業「小平防災」が事業化となり、本年度は測量設計等を実施したほか、同じく本年度着工した「(仮称)鬼鹿行政センター」につきましては順調に工事が進捗しており、完成後は地域の中心的施設としてその役割を果たすものと期待しているところであります。

さて、私が町長に就任以来10年の歳月が経過しましたが、町民皆様から寄せられる期待とその職責の重大さにいつも身の引き締まる思いであります。まもなく始まる新年度予算編成においては、私の当初からの基本理念であります「町づくりの主役は町民であり、町民の目線に立つて自ら出向き、自らが見て聞く、現場主義」を徹底し、こ

れまで培った基盤をさらに発展させるよう努めていく所存であります。

本年の予算編成は、子育て支援対策を引き続き推進するとともに、年次計画的な公営住宅の改善・橋梁長寿命化工事、上下水道施設の更新といったインフラ整備のほか、高齢者グループハウスやすぎ荘外部改修工事等を実施し、活気にあふれ、誰もが安心して住み続けられるまちの創生に全力で取り組んでまいります。

結びに、町民皆様の町政へのお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、コロナ禍の中、一人ひとりがコロナ感染予防策に留意され、皆様にとりまして、平穏で明るく、希望に満ちた幸多き年であることを心から祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

